

令和4年度第2回 淀川区区政会議 議事要旨

日 時：令和4年11月21日（月） 午後6時31分～午後8時04分

場 所：淀川区役所 5階 会議室

出席者：

- ・ 委員（25名中21名出席）
浅井委員、梅原委員、大西委員（WEB参加）、大屋委員、奥委員（WEB参加）、加藤委員、佐々木委員、杉本委員、田中委員、寺田委員、中井委員、永野委員、西岡委員、西川委員、西澤委員、平野委員、森委員、山本（宗）委員、山本（留）委員、横山委員、米田委員
- ・ 区役所
岡本区長、橋本副区長、畑中総務課長、田口政策企画課長、山田市民協働課長、山川保健福祉課長、井上教育支援担当課長、武田保健・子育て支援担当課長、大橋政策企画課長代理、山崎市民協働課長代理、長谷川市民協働課企画調整担当課長代理、生駒市民協働課教育支援担当課長代理、森川保健副主幹 ほか

内 容：

1. 開 会
2. 区長あいさつ
3. 議 題
 - (1) 令和5年度淀川区運営方針（案）について
 - (2) 区政会議におけるご意見への対応方針について
 - (3) 新大阪駅周辺地域のまちづくりについて
 - (4) その他
4. その他

資 料：

【当日配付資料】

- ・ 次第
- ・ 区政会議委員名簿、座席表
- ・ （資料3）新大阪駅周辺地域のまちづくり
- ・ （資料4）淀川河川敷十三エリアかわまちづくり
- ・ （資料5）区政会議に関するアンケート集計結果（全体会議・部会）
- ・ （資料6）区政会議委員の意見を参考に取り組んだものの例

【事前配付資料】

- ・（資料１）令和５年度淀川区運営方針（案）
- ・（資料２）区政会議におけるご意見への対応方針

１． 開会

２． 区長あいさつ

３． 議題

（１）令和５年度淀川区運営方針（案）について

●資料１について説明（田口政策企画課長）

○質疑

- ・経営課題３の主な戦略で、中間支援組織（まちづくりセンター等）との連携による地域特性に応じた支援とありますが、まちづくりセンターの担当者が短期間で交代されることが多々あり、一番短かったのが１年です。１年で地域特性が分かるのかと疑問に思います。どういうタイミングで担当者が代わられるのでしょうか。（西岡委員）

⇒まちづくりセンターは、１年更新で契約の発注をしており、まちづくりセンターで雇用契約がされているというのが現状です。１年単位を少し伸ばして契約をすることによって雇用が安定すると思いますので、来年度については契約を伸ばします。

区役所からは、こういう支援をしてほしいという発注はしますが、人の交代について、この人がこの地域を何年見てというようなことについては直接指示ができません。

実際１年ぐらいでその地域特性は分からないですが、前任が蓄積した情報についてはまちづくりセンターできちんと確保しています。それをつなげていくようにはなっているのですが、１～２年で一個人がその地域特性を分かるかは、実際は５年、１０年担当しても、隅々まで分かるかという疑問に思います。（山田市民協働課長）

- ・経営課題４の、窓口サービスの向上で、例えば受け取る書類が住民票ならすぐ早くかったり、違う書類なら結構待たされて損しているような、先に受付してるのに後回しにされているような感覚を受けてしまうことが経験上あるので、受付されてから書類をもらうまでの時間をもう少し分かりやすくしていただけないかと思います。（西岡委員）

⇒申請された書類で出てくるタイミングというのはかなり違っており、申請されてからの時間がどのくらいかかるというのは今表示できていないという

部分がありますので、何か分かりやすくお伝えすることができるか、一度考えさせていただきたいと思います。(畑中総務課長)

- ・加島地域では、9月11日に地域防災学習会として、加島地域防災まち歩きで、危険な場所等がないかを確認しながら歩きました。災害時の一時避難場所の公園ですが、除草もされず草が生い茂っていて、地震の時に避難ができるのかというようなひどい状態でしたし、ふだんは子どもたちも遊ぶ場所です。少し前の年でしたらそういうこともなかったと思うのですが、年に2回ぐらいしか除草がされていない感じがします。住民の安全、住みやすさに直結するところですので、この辺に予算を足していただけないかと思います。(西岡委員)

⇒公園に関しては建設局が管轄していますので、除草回数を多くできるかどうかという働きかけについては、区政会議で御意見があったということで相談してみたいと思います。(長谷川市民協働課企画調整担当課長代理)

- ・経営課題2の学校教育への支援の課題認識のところで、自己肯定感が全国平均に比べ低い傾向にあると書かれていますが、何に基づいてのデータでしょうか。(梅原委員)

⇒全国学力・学習状況調査において、児童・生徒に質問している項目です。(井上教育支援担当課長)

- ・運営方針のアウトカム指標の数値で、5年度、6年度という数値がありますが、現在の数値の記載はあるのでしょうか。

「安心して子育てができる環境であると感じる割合」が、7年度末までに40%以上と目標設定され、5年度35%、6年度37%であれば、4年度がどれぐらいかが分からないと判断がつきにくいと思います。(奥委員)

⇒令和4年度の区民アンケートの結果をもとに、右肩上がりに上げていきたいと考えて、この数値に設定をしています。(武田保健・子育て支援担当課長)

⇒出発点が分からないという部分について、修正をしていきたいと思います。(岡本区長)

- ・経営課題の2の子育て支援の「淀川区版ネウボラ」の推進について、妊娠されたお母さんが来られたときに、この取組をお伝えしているのか、どういう形で発信しているのでしょうか。(米田副議長)

⇒よどマガ11月号の、私が毎月書かせていただいているコラムの中で、それについて触れています。ネウボラは、フィンランド語で「アドバイスをする場所」という意味で、フィンランドでは1人の保健師が産前産後や子育て期間で切れ目のない支援を実施しています。

淀川区役所としては1人の子が生まれたときから小学校、中学校になるまでしっかりその子の課題を把握して、必要な支援をするということで、この淀

川区版ネウボラを構築しているところです。ただし、周知も十分にできておりませんし、ネウボラって何、というところもあるかと思いますので、広報誌等いろいろな機会を使ってしっかり周知をしていきたいと考えています。

(岡本区長)

- ・十三エリアについて、民間の阪急電車も絡んでおられるかわかりませんが、具体的な計画や年度等は出ているのでしょうか。(中井委員)

⇒十三エリアの部分については、まだ構想の段階ということで、オープンにできる状況ではありませんが、新大阪駅周辺エリアが都市再生緊急整備地域に指定をされ、今後、十三駅周辺についても指定地域に拡大される予定です。その際には、十三駅周辺がどうなっていくかということについて情報をお伝えしていきたいと考えています。(岡本区長)

(2) 区政会議におけるご意見への対応方針について

●資料2について説明 (田口政策企画課長)

○質疑

- ・いつも考えるとき、何か聞くときに迷うのが、府と市と区で、区が独自で判断できるお金や項目とは何でしょうか。区に対して頼める内容がよく分からないので、区として独自にできるのはどこまでなのかを教えてください。(永野委員)

⇒今大阪市では、ニア・イズ・ベターという、住民に近い区役所が、皆さんの御意見をしっかり聞いて施策に反映していこうという大きな方針が出ています。

また、組織上においても、区長が、市の各局の局長の上位に立って、局を指導していくということになっています。

一方で大阪府は、広域でしていく必要がある業務、例えば大きなまちづくりの都市計画をどうしていくか、大阪市の医療圏、病院をどう配置していく等は小さい区だけで議論しても難しいので、広域に関わる分については府で行います。ただ、大阪市と大阪府が、仲が悪いとうまくいかないこともありますので、市と府でしっかりパイプをつないで、お互い協議をしながら進めているという状況です。(岡本区長)

(3) 新大阪駅周辺地域のまちづくりについて

●資料3について説明 (遠藤大阪都市計画局拠点開発室参事)

○質疑

- ・スーパー・メガリージョンとは何でしょうか。(西岡委員)

⇒国においてスーパー・メガリージョン構想というものが打ち出されています。

リニア中央新幹線によって東京・名古屋・大阪の都市圏が1時間程度で結ばれることによって、形成される人口7000万人規模の巨大都市圏のことです。

(遠藤大阪都市計画局拠点開発室参事)

- ・新幹線ができてから半世紀、新大阪の利便性はよくなっていません。新幹線ができてから起こったことは、人が東京に集中して大阪からの出口になり人が集まってきました。スーパー・メガリージョンという話は、ありえない話です。北陸やリニアができて、ますます人が大阪から東京に出ていき、大阪は出張先ではなく日帰りの都市になっていくと思います。現実をよく踏まえてもう一度構想を練ってほしい。

もう一点、大阪市全体を考えるのであれば、大阪の大動脈である新御堂筋の利用を考えないのでしょうか。南に行けば梅田という大都市圏があります。梅田と新大阪と結んで、梅田から新大阪へバスを走らせる等をすれば、新大阪に人が集まってくるのではないのでしょうか。淀川区という狭い範囲で考えるのではなく、新御堂筋という北南を結んだ大阪都市圏というものが考えられるのではないのでしょうか。計画を見直していただきたいです。(杉本委員)

⇒スーパー・メガリージョンについて、意見いただいた指摘があることは認識しています。国で打ち出された構想を前提に、新大阪周辺をよくしていきたいというのが我々の思いで、東京に人が持っていかれなくないように考えないといけないと思っています。新大阪を拠点化していく、周辺をよくしていくということを、リニア・北陸新幹線がくることをきっかけに変えていくということを打ち出させていただきました。

新御堂筋についても活用していくべきと考えていますし、梅田との連携も考えていきたいと思っています。

淀川左岸線ができると新御堂筋からの高速道路へのアクセスがよくなります。まちづくり方針は、そういうことも含めて打ち出させていただいたものです。

また、今回2022版としたのは、現時点でとりまとめられる内容をまとめたもので、今後更新を考えています。今後の動きや区政会議での意見も踏まえて考えていきたいと思っています。(遠藤大阪都市計画局拠点開発室参事)

- ・新大阪エリアの周辺の開発というのは、都市計画法29条の開発のことですか。(大西委員)

⇒現時点では、都市計画法の開発までいたっていない状況です。開発の前提になる方向性を打ち出させていただき、今回、国において都市再生緊急整備地域の指定がされたものです。

これを踏まえて、民間でどのような開発にしていくかを検討されていくことになり、具体的な計画ができてきた段階で、都市計画法の開発許可申請とい

う流れになります。(遠藤大阪都市計画局拠点開発室参事)

⇒商業施設がメインなのか、住宅がメインなのかはわかっているのですか。

事業者から相談は来ているのではないですか。(大西委員)

⇒区域の中では、メルパルク等がこれから建て替えを検討されています。計画ができれば許可申請が出されることになります。(遠藤大阪都市計画局拠点開発室参事)

⇒これだけの面積があれば、結構な数の会社がないとなりたないのでは。(大西委員)

⇒それぞれの民間事業者が持っている敷地単位で、それぞれの開発が進んでいくのではないかと考えています。(藤川計画調整局都市計画課長)

・何十年も前から新大阪駅はよく利用していたが、南側、北側とも一つも変わっていません。東京駅、博多駅は後から開発されているにもかかわらず、圧倒的に、十年以上の差がつけられています。

南側が開発できないのは宮原操車場の引き込み線があるからで、廃止してください。宮原操車場もリニアの駅にすると駅周辺を民間で考えていただければいいと思いますが、操車場はあその場所でなくてもいいのではないのでしょうか。早急に引き込み線を撤去すると新大阪のイメージが変わるかと思います。

もう一つは、新大阪駅から近い場所に、柴島浄水場があり、広大な面積があります。淀川区ではなく東淀川区だが、淡路まで含めた総合的な判断として、浄水場があその場所になくてもいいと思っています。東京の新宿は元浄水場でそこがどんどん開発されました。浄水場の場所はビジネス街にさせていただいて高層ビルを集中させたらどうでしょうか。(森委員)

⇒宮原操車場への引き込み線は、JRからは梅田の車両のやりとり等も踏まえると現時点では必要ということを聞いています。将来的にどうするかは今後の状況を踏まえて検討していきます。

柴島浄水場は、水道局で、ダウンサイジングという、規模を縮小して土地を活用していく方針です。移転のための作業等があり、2034年くらいの予定です。

新大阪駅周辺にはさまざまな動きがあります。全体としてうまく進められるように調整していきたいと思っています。(遠藤大阪都市計画局拠点開発室参事)

(4) その他

●資料5について説明 (田口政策企画課長)

○質疑はなし

4. その他

○質疑

- ・資料3に「世界有数の～」と書いてありますが、「日本有数の」であればまだしも「世界有数の」というのは言い過ぎではないでしょうか。また、「歩きたくなるまち」とも書いてありますが、大阪には歩きたくなるまちはほとんどありません。税金を投入する対象としてどうなのかと思います。

人口、税収を確保してまちを維持していくことは大事ですが、大阪のコロナの死者が第1位であり公衆衛生は大丈夫なのか、病院の体制はどうか、大阪の水道管もボロボロですが予算も限られています。この地域で住んでいる人間としては、安心して暮らせるようにしてほしいです。

東淀川の河川敷で豊里大橋付近の木がものすごく伐採されています。ホームレスの人の青テントや、野良猫がいっぱいいますが、ほとんど木がなく、日陰もなく、風よけもないので、一緒にしては悪いですが、あの人たちはどうなっていくのかと思います。何の説明もなく切られて、住民の意思が問われることがないのが本当に頭にきています。(永野委員)

⇒都市計画だけでなく、防災、地域の福祉の問題等、それぞれあることは認識しています。これからも少しでも住民の皆さんに地域福祉の向上を感じていただけるように、また防災についても東南海・南海地震がいつ起きてもおかしくない状況であり、一生懸命取り組みを進めているところです。ただ、十分でないのはそのとおりだと思いますので、引き続き御意見いただきながら、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

一方で「世界有数」というのは、風呂敷を広げすぎたかなというのは私自身も思いますが、ただ目標として淀川区を世界に冠たる地域にしていきたいとは思っておりご理解いただきたいと思っています。

淀川区には淀川河川敷という自然に恵まれた場所もあります。自然を活かした歩きたくなる都市空間、まちをめざしていければと思っています。(岡本区長)